

コメント関連テーブル

ファイル仕様説明書

令和 6 年度版

編集 社会保険診療報酬支払基金

目 次

1 ファイルの形式	1
2 コメント関連テーブルの情報表記仕様	2

1 ファイルの形式

- (1) 項目間の区切り文字は「,」(カンマ)とする。
- (2) 各項目の値は、モード(「数字」、「英数」及び「漢字」)に関わらず、引用符「"」(ダブルクオーテーション)を前後に付す。
- (3) 最大バイトは引用符「"」を除いたバイト数とする。
- (4) 0バイトの文字列(Null)の場合は、引用符「"」を続けて記録する。

2 コメント関連テーブルの情報表記仕様

項目番	項目名	形式			内 容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
1	変更区分	数字	1	固定	<p>レコードの異動状況を表す。</p> <p>0 : 前テーブルの内容と同じであることを表す。 1 : 抹消 2 : 復活 3 : 新規 5 : 変更 9 : 廃止</p> <p>「9 : 廃止」は、次回テーブル更新時に当該レコードを削除する。</p>
2	コメント記載通知等	数字	1	固定	<p>「診療報酬請求書等の記載要領」の別表 I、別表 II、別表 III（以下「記載要領別表 I」、「記載要領別表 II」及び「記載要領別表 III」という。）及び「訪問看護療養費請求書の記載要領」の別表 I（以下「記載要領（訪問看護）別表 I」という。）を表す。</p> <p>0 : 「1」から「7」以外の箇所に掲載されているもの 1 : 記載要領別表 I（医科）に掲載されているもの 3 : 記載要領別表 I（歯科）に掲載されているもの 4 : 記載要領別表 I（調剤）に掲載されているもの 5 : 記載要領別表 II（医薬品）に掲載されているもの 6 : 記載要領別表 III（検査値）に掲載されているもの 7 : 記載要領（訪問看護）別表 I に掲載されているもの</p>
3	項目番	数字	4	固定	<p>記載要領別表 I、記載要領別表 II、記載要領別表 III又は記載要領（訪問看護）別表 I の「項目番」列の値を設定する。</p> <p>記載要領別表 I、記載要領別表 II、記載要領別表 III又は記載要領（訪問看護）別表 I 以外に掲載されている場合は、「0000」を設定する。</p>
4	区分	英数 又は 漢字	6 4	可変	<p>記載要領別表 I 又は記載要領（訪問看護）別表 I の「区分」列の値を設定する。</p> <p>記載要領別表 I の「診療（調剤）行為名称等」の列の値に「長期収載品の選定療養に関する取扱い」が記載されている場合は、当該列の値を設定する。</p> <p>記載要領別表 I 又は記載要領（訪問看護）別表 I 以外に掲載されている場合は、「0000」を設定する。</p>

項目番号	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
5	枝番	数字	2	固定	項番内に複数の条件がある場合は、条件ごとに「01」から昇順に枝番を設定する。 条件が1つの場合は、「00」を設定する。
診療（調剤）行為					
6	コード	数字	9	固定	<p><医科診療行為の場合> 医科診療行為マスターの項番3「診療行為コード」に設定されているコードを設定する。</p> <p><歯科診療行為の場合> 歯科診療行為マスター・基本テーブルの項番3「歯科診療行為コード」に設定されているコードを設定する。</p> <p><調剤行為の場合> 調剤行為マスターの項番3「調剤行為コード」に設定されているコードを設定する。</p> <p><医薬品の場合>医薬品マスターの項番3「医薬品コード」に設定されているコードを設定する。<長期収載品の選定療養に関する取扱いの場合> 項番4「区分」が「長期収載品の選定療養に関する取扱い」である場合であって、対象となる医薬品を示す場合は、項番2「コメント記載通知等」に応じて次のコードを設定する。 なお、対象となる医薬品は医薬品マスターの項番42「選定療養区分」に「1」を設定する。</p> <p style="text-align: center;">81999999 : コメント記載通知等が「1」の 場合</p> <p style="text-align: center;">83999999 : コメント記載通知等が「3」の 場合</p> <p style="text-align: center;">84999999 : コメント記載通知等が「4」の 場合</p> <p><訪問看護療養費の場合> 訪問看護療養費マスター・基本テーブルの項番3「訪問看護療養費コード」に設定されているコードを設定する。</p> <p><診療（調剤）行為が特定できない場合></p>

項目番	項目名	形 式			内 容
		モード	最大 バ イ ト	項目 形式	
					<p>項目番2「コメント記載通知等」に応じて次のコードを設定する。</p> <p>1 9 9 9 9 9 9 9 9 : コメント記載通知等が「1」の場合</p> <p>3 9 9 9 9 9 9 9 9 : コメント記載通知等が「3」の場合</p> <p>4 9 9 9 9 9 9 9 9 : コメント記載通知等が「4」の場合</p> <p>6 9 9 9 9 9 9 9 9 : コメント記載通知等が「5」の場合</p> <p>7 9 9 9 9 9 9 9 9 : コメント記載通知等が「7」の場合</p>
7	加算コード	英数	5	可変	<p><医科診療行為、調剤行為、検査値、医薬品又は訪問看護療養費の場合> 記録を省略する。</p> <p><歯科診療行為の場合> 歯科診療行為マスター・基本テーブルの項目8「加算コード」に設定されているコードを設定する。 また、コードが3 9 9 9 9 9 9 9 9 又は8 3 9 9 9 9 9 9 9 の場合は、「0 0 0 0 0」を設定する。</p>
8	省略漢字名称	漢字	6 4	可変	<p><医科診療行為又は検査値の場合> 医科診療行為マスターの項目5「省略漢字名称」に設定されている名称を設定する。</p> <p><歯科診療行為の場合> 歯科診療行為マスター・基本テーブルの項目10「省略名称」に設定されている名称を設定する。</p> <p><調剤行為の場合> 調剤行為マスターの項目5「漢字名称」に設定されている名称を設定する。</p> <p><医薬品の場合> 医薬品マスターの項目5「漢字名称」に設定されている名称を設定する。</p> <p><長期収載品の選定療養に関する取扱いの場合> 項目6「診療（調剤）行為コード」に「長期収載品の選</p>

項目番	項目名	形 式			内 容
		モード	最大 バ イ ト	項目 形式	
					<p>定療養に関する取扱い」のコードを設定している場合に、次の名称を設定する。</p> <p>＊＊＊ 選定療養対象医薬品1 ＊＊＊ :「8 1 9 9 9 9 9 9 9」の場合</p> <p>＊＊＊ 選定療養対象医薬品3 ＊＊＊ :「8 3 9 9 9 9 9 9 9」の場合</p> <p>＊＊＊ 選定療養対象医薬品4 ＊＊＊ :「8 4 9 9 9 9 9 9 9」の場合</p> <p><訪問看護療養費の場合> 訪問看護療養費マスター・基本テーブルの項番9「省略名称」に設定されている名称を設定する。</p> <p><診療（調剤）行為が特定できない場合> 項番2「コメント記載通知等」に応じて次の名称を設定する。</p> <p>＊＊＊ 医科診療行為特定不能 ＊＊＊ :コメント記載通知等が「1」の場合</p> <p>＊＊＊ 歯科診療行為特定不能 ＊＊＊ :コメント記載通知等が「3」の場合</p> <p>＊＊＊ 調剤行為特定不能 ＊＊＊ :コメント記載通知等が「4」の場合</p> <p>＊＊＊ 訪問看護療養費特定不能 ＊＊＊ :コメント記載通知等が「7」の場合</p>
コメント又は患者の状態コード					
9	コメントコード	数字	9	固定	記載要領別表Ⅰ、記載要領別表Ⅱ、記載要領別表Ⅲ又は記載要領（訪問看護）別表Ⅰの「レセプト電算処理システム用コード」列に収載されているコメントコードを設定する。
10	患者の状態コード	数字	3	可変	記載要領別表Ⅰの「レセプト電算処理システム用コード」列に収載されている患者の状態コードを設定する。 患者の状態コードが収載されていない場合は、記録を省略する。
11	コメント文	漢字	300	可変	コメントマスターの項番7「漢字名称」に設定されている文字列を設定する。
12	変更年月日	数字	8	固定	当該関連情報に変更等が生じた場合に、適用となる日付を西暦年「4桁」、月「2桁」及び日「2桁」の8桁で表す。
13	廃止年月日	数字	8	固定	当該関連情報の適用が有効な最終日付を西暦年「4桁」、

項目番	項目名	形 式			内 容
		モード	最大 バ ッ ト	項目 形式	
					月「2桁」及び日「2桁」の8桁で表す。
1 4	条件区分	数字	2	固定	<p>コメントコードの選択に係る条件を表す。</p> <p>0 0 : 「0 1」、「0 2」、「0 3」、「1 0」、「1 1」、「1 2」、「1 3」及び「2 0」以外の場合</p> <p>0 1 : 対象の診療（調剤）行為の算定が条件であって、それ以外の条件がない場合</p> <p>0 2 : 対象の診療（調剤）行為の算定が条件であって、入院又は入院外のいずれかで算定した場合</p> <p>0 3 : 対象の診療（調剤）行為の算定が条件であって、複数回算定した場合</p> <p>1 0 : D P C医療機関は省略可 D P C医療機関以外は「0 0」と同義</p> <p>1 1 : D P C医療機関は省略可 D P C医療機関以外は「0 1」と同義</p> <p>1 2 : D P C医療機関は省略可 D P C医療機関以外は「0 2」と同義</p> <p>1 3 : D P C医療機関は省略可 D P C医療機関以外は「0 3」と同義</p> <p>2 0 : 長期収載品を選定療養として処方しない場合</p>
1 5	非算定理由コメント	数字	1	固定	<p>診療（調剤）行為を算定しなかった場合に記録するコメントか否かを表す。</p> <p>0 : 「1」以外のコメント</p> <p>1 : 対象の診療（調剤）行為を算定しなかった場合であって、条件に合致する場合に記録するコメント</p>
1 6	入外区分	数字	1	固定	<p>項目1 4「条件区分」が「0 2」の場合、入院又は入院外いずれの条件かを表す。</p> <p>1 : 入院 2 : 入院外</p> <p>上記以外の場合は「0」を設定する。</p>
1 7	算定回数	数字	3	固定	<p>項目1 4「条件区分」が「0 3」又は「1 3」の場合、項目9「コメントコード」又は項目1 0「患者の状態コード」の記録が必要となる対象の診療（調剤）行為の算定回数を表す。</p> <p>上記以外の場合は「0 0 0」を設定する。</p>

項目番	項目名	形 式			内 容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
18	公表順序番号	数字	9	固定	「記載要領別表Ⅰ」、「記載要領別表Ⅱ」、「記載要領別表Ⅲ」記載要領（訪問看護）別表Ⅰによる順序番号を設定する。
19	予備	数字	1	可変	未使用：省略
20	予備	数字	1	可変	未使用：省略
21	予備	数字	1	可変	未使用：省略
22	予備	数字	1	可変	未使用：省略
23	予備	数字	1	可変	未使用：省略
24	予備	数字	1	可変	未使用：省略
25	予備	数字	1	可変	未使用：省略
26	予備	数字	1	可変	未使用：省略
27	予備	数字	1	可変	未使用：省略
28	予備	数字	1	可変	未使用：省略
29	予備	数字	1	可変	未使用：省略
30	予備	数字	1	可変	未使用：省略